

入場
無料



牡鹿半島

思い出
広場

OSHIKAHANTOU
OMOIDE HIROBA

こんな鮎川みたことない!

アメリカ自然史博物館提供 写真資料番号27363

第11回文化財レスキュー企画展

くじら探検記

—アメリカ自然史博物館所蔵・明治の鮎川の写真—

期間

平成28年

8月11日(祝)~14日(日)

11(木)

午後1時30分~午後5時

12(金)・13(土)

午前9時~午後5時

14(日)

午前9時~午後1時

会場

石巻市復興まちづくり情報交流館・牡鹿館
(復興商店街「おしかのれん街」前)

〒986-2523 石巻市鮎川浜湊川65番地 TEL.0225-98-9950

展示内容

東北学院大学では、東日本大震災で被災した牡鹿半島の文化財等の保全作業に取り組み、現在は旧牡鹿公民館の町史編纂資料等の整理に従事しています。

今からちょうど100年前、アメリカ人探検家ロイ・チャップマン・アンドリュース(1884~1960年)は、『銃とカメラで鯨狩り』(Andrews 1916)という本を出版し、多くのページを割いて鮎川の捕鯨を紹介しています。彼は、ニューヨークのアメリカ自然史博物館の学芸員として、鮎川で鯨類の調査と標本採集を行ったのです。のちに館長となり、映画『インディ・ジョーンズ』シリーズのモデルとも言われています。

今回の展示では、アメリカ自然史博物館に残されているアンドリュースが撮影した100枚弱の写真から代表的なものを展示します。その写真には、今から3世代以上前の鮎川の住民の姿がとらえられています。地域のうつり変わりを知ることで、これから復興していく鮎川のすがたを考えるきっかけにいただければと思います。

最後に、今回の展示会の実現のために仲介役をになっていただいた宇仁義和氏(東京農業大学嘱託准教授)と、出陳を了承いただいたアメリカ自然史博物館に感謝申し上げます。

東北学院大学文学部歴史学科 教授 加藤 幸治

第12回文化財レスキュー企画展

鯨まつりのにぎわい

入場
無料



一人ひとりのくらしの
風景がみえてくる

期間

平成28年

8月15日(月)~9月5日(月)

午前9時~午後5時

会場

石巻市復興まちづくり情報交流館・牡鹿館
(復興商店街「おしかのれん街」前)

〒986-2523 石巻市鮎川浜湊川65番地 TEL.0225-98-9950



展示内容

東北学院大学では、東日本大震災で被災した牡鹿半島の文化財等の保全作業に取り組み、現在は旧牡鹿公民館の町史編纂資料等の整理に従事しています。

今回は、長年にわたって鮎川のすがたを撮影してきた大工さんの鹿井清介さん(石巻市鮎川在住)のネガから、60年前のクジラ祭りの写真をお借りして展示しています。男たちも女たちも、大人も子どもも、ひとつの行事に向かって協力し、精一杯たのしむことができた昭和中期の息吹を、写真にうつったひとつひとつの笑顔が伝えてくれているようです。

かつてのくらしのイメージを思い起こしてもらいながら、復興していく地域がもともと持っていた文化に誇りを取り戻してもらおうきっかけにいただければと思います。

東北学院大学文学部歴史学科
教授 加藤 幸治